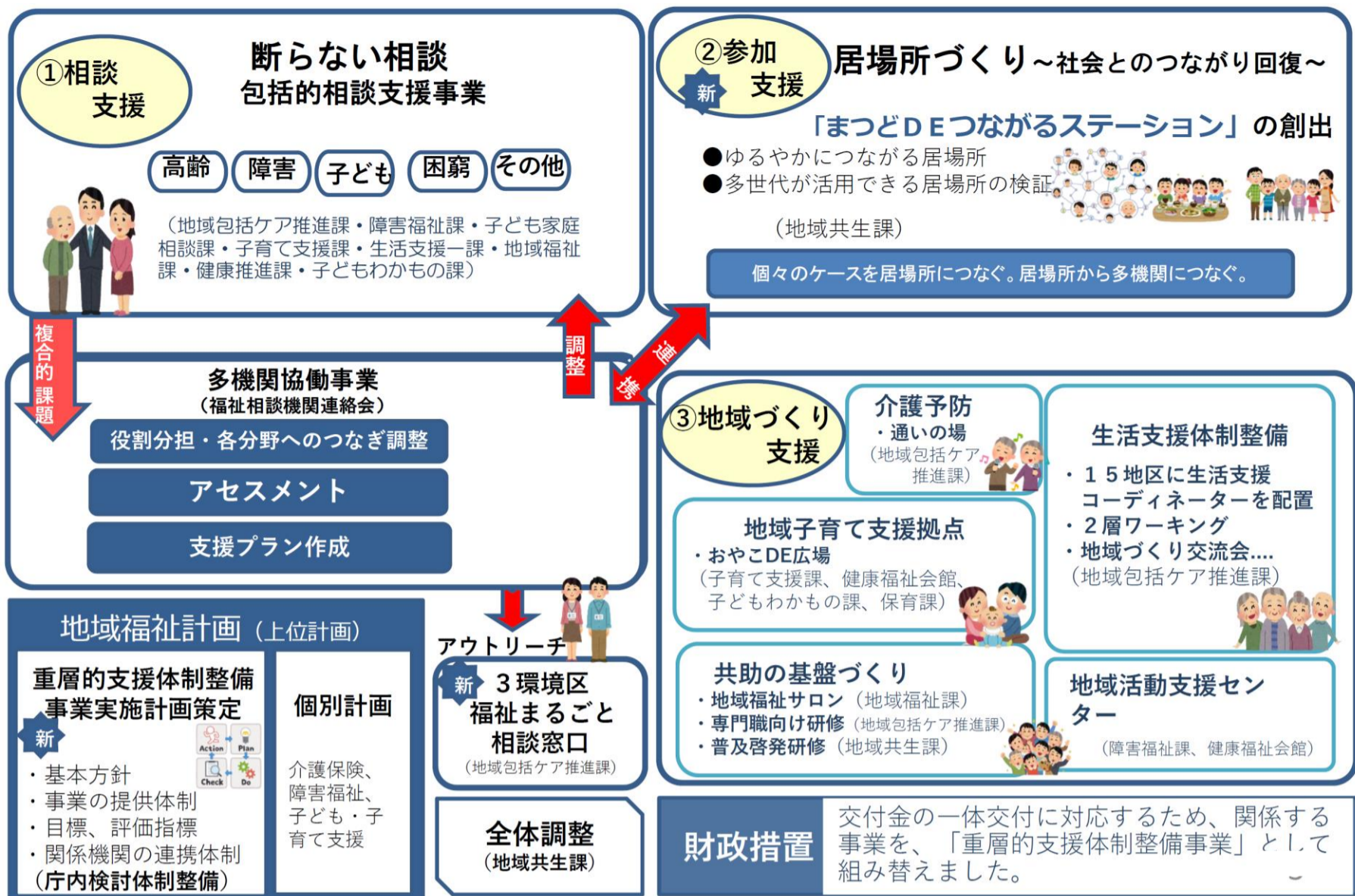


## 1. 松戸市における重層的支援体制整備事業全体像

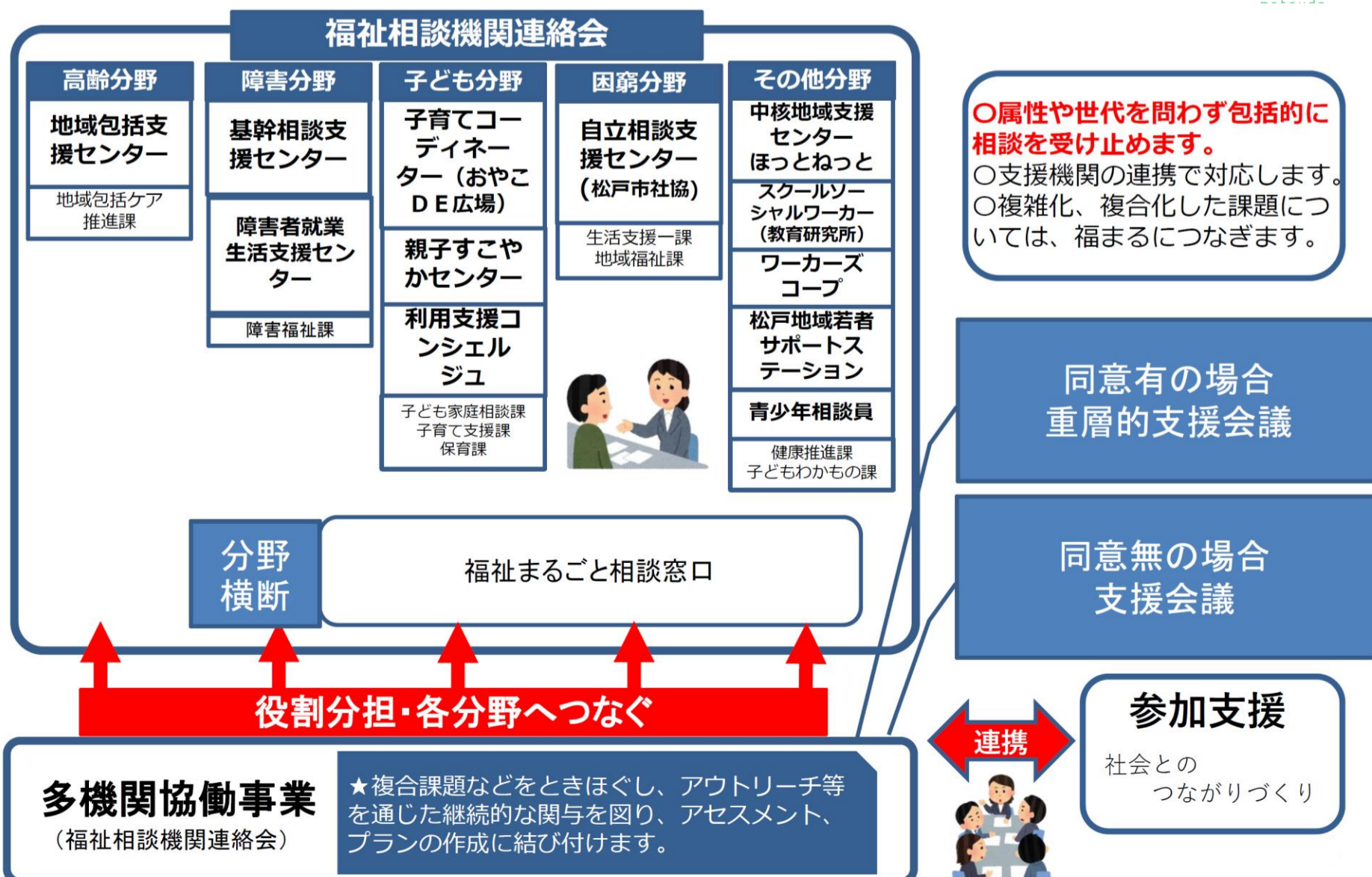


## 2. 松戸市版包括的相談支援事業

分野	拠点	箇所数	
高齢	地域包括支援センター	15か所	
障害	基幹相談支援センター	3か所	1か所から3か所に増設 (令和3年度)
子ども	地域子育て支援拠点	18か所	
困窮	自立相談支援センター	1か所	



包括の地区割は15圏域で、町会自治会連合会や地区社協の地区割と揃っている。市民生活の課題を15圏域で発見し解決する仕組みへ。



### 3. 参加支援「まつどDEつながるステーション～多世代まるごとの居場所づくり～」

#### 1 まつどDEつながるステーション創出の目的

市民の誰もが参加でき、ゆるやかなつながり(人や地域と関わるきっかけ)を持つことにより地域の中での孤立を防止し、社会とのつながりを作ります。

#### 2 まつどDEつながるステーションとは

地域の方が担い手となり、誰もが参加ができ、市や地域の情報が得られるところ。

#### 3 まつどDEつながるステーションの創出方針

市内15地区に多様な主体(地域住民、市民活動団体、社会福祉法人、企業等)が参画する実行委員会を立ち上げ、各支援の狭間の人も参加できる地域の居場所づくりを検討し、全体会議の承認を得て各地区にステーションを1か所以上創出します。

#### 4 まつどDEつながるステーションへの支援

全体会議で承認された、各地区の計画案(内容、費用)に基づいた経費を支援します。

例: 場所使用料、活動費等

#### 5 まつどDEつながるステーションのイメージ図



- 多世代食堂やカフェなど多様な活動を取り入れ誰もが参加できるステーションを創出します(各地区1か所以上)。
- 市や地域の情報が得られることにより居場所の利便性を高め、新たな利用者の創出につなげます。
- 地域住民、地域活動団体、町会・自治会連合会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、まつどNPO協議会等と協働し、地域共生社会を目指した地域づくりを推進します。